

研修部会活動報告（2005年度）

東松山研修室長 河野良継

1. 東松山研修室においては、1・2年生（国際関係学部生は1～4年生）を対象に、基礎学力の養成を目的とした講義・演習を中心とする以下のような講座・科目を開講している。一つは、法職コースであり、これは司法・国家Ⅰ種・司法書士などの試験のためのコースである。もう一つは、公務員・強化科目であり、国家Ⅱ種・地方上級・宅地建物取引主任者などの試験のためのコースである。研修生の大半は、法学部生であり、その数も、昨年に比べ大きな変化はないが、他学部学生の受講生が少ないので、是非、これらの学生の受講を歓迎したい。
2. 研修室には、研修の便宜をはかるために、若干の施設が用意されている。なお、昨年度から今年度にかけて机に衝立（仕切り）がおかれるようになったことで、研修生が隣を気にすることなく、勉学に励むことができるようになった。とはいえ、現状では、あまり整備された環境であるとは言い難い。例えば、研修室のスペース、照明の明るさ、机のサイズおよび数、出入り口の引き戸の音等、改善されるべき点は多い。また、毎年、前研修室長も指摘されていることではあるが、研修生が落ち着いて勉学できるためにも、勉学用・事務用の二部屋が必要かと思われる。欲をいえば、研修生が勉強会で議論しあったり、あるいは一息入れることができたりするような室（談話室）を設けてもらえれば、私語のような問題も解決されるであろう。参考書や雑誌の数については、ここ数年で多少なりとも充実をはかってきたが、まだ十分であるとはいえないので、今後一層の充実が望まれる。
3. コースに関していえば、受講生の数が増えることで、研修生相互で刺激しあうことにより、各自の学習意欲がより奮起されるであろうことを考えるならば、法学部生はもとより、他学部生にも受講するよう、PRの面でより多くの力を注ぐ必要があるかと思われる。